

各位

会社名 株式会社 イグニス  
 代表者名 代表取締役社長 銭 鋌  
 (コード番号: 3689 東証マザーズ)  
 問合せ先 執行役員 CFO 松本 智仁  
 (TEL. 03-6408-6820)

## 貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）及び特別損失の計上並びに通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2018年9月期（2017年10月1日～2018年9月30日）の通期連結業績において貸倒引当金繰入額を販売費及び一般管理費に計上するとともに、特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、2018年5月14日に公表した通期連結業績予想値につきまして、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）及び特別損失の計上について

当社は、2018年9月期において、VR並びに医療機関向けSaaS（Software as a Service）を中心とした新規事業領域等に係る債権の貸倒引当金繰入額1,509百万円を販売費及び一般管理費に、また、固定資産の減損損失103百万円を特別損失に計上することとなりました。

当該事象は、新規事業領域に対して将来における収益稼得を見込んでいるものの、一定期間内における回収に不確実性が存在することに鑑み、「金融商品に関する会計基準」及び「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、債権に対して貸倒引当金繰入額を計上し、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額するものです。

なお、当該貸倒引当金繰入額の計上に係る取引先等は、手形の不渡りや破産手続き開始申し立て等の事実は発生しておらず、当該取引先の事業への影響を鑑み、名称等の開示は控えさせていただきます。

#### 2. 2018年9月期通期連結業績予想値と実績値との差異について

(2017年10月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,400	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 -
実績値 (B)	4,874	△2,532	△2,571	△2,651	△197.25
増減額 (B - A)	474	-	-	-	
増減率 (%)	10.8	-	-	-	
(参考) 前期連結実績 (2017年9月期)	5,577	83	71	△35	△2.72

※ 当社は、2017年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(差異の理由)

当社は、2018年9月期を中期経営計画達成に向けた更なる成長を目指した事業投資の年度と位置付け、既存事業の強化や社内の体制整備、新規事業の立上げに向け、積極的な先行投資を行ってまいりました。

売上高につきましては、主に既存ジャンルであるコミュニティの『with』の伸長による増加と、ネイティブゲーム『ぼくとドラゴン』の売上が想定を上回る推移となったため、公表予算比474百万円増の4,874百万円となりました。

利益につきましては、当該先行投資に伴い、主に広告宣伝費や研究開発費等が増加するとともに、上記の貸倒引当金繰入額1,509百万円を計上したことにより販売費及び一般管理費が増加いたしました。その結果、各先行投資は一定の成果を見せ、2019年9月期以降の収益貢献を見込めるものの、営業利益、経常利益は、それぞれ2,532百万円の営業損失、2,571百万円の経常損失となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記固定資産の減損損失103百万円を計上したこと等から、2,651百万円の親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2018年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」、「2018年9月期 決算説明資料」及び「臨時報告書」をご参照ください。

以上